



徳島県立富岡西高等学校 2年次通信② 1学期末号

「自律・人間力・挑戦」
～挨拶・掃除・返事・身だしなみ・さっと動く～

Greeting・Cleaning・Response・Dress Code・Quickly

「富西」に入学して、2回目の夏を迎えました。今年は昨年の梅雨より涼しく、梅雨らしい梅雨でした。その梅雨も明け、夏本番を迎えています。この夏休みいかに過ごすか、今後の高校生活に多大な影響を及ぼすものと考えます。一日一日充実したものとなるよう過ごしてください。期待しています。

さて、1学期には、新クラス開きに始まり、5月に体育祭、6月には県高校総体、修学旅行、四国高校総体、7月には球技大会などが実施されました。特に6月16日から19日まで4日間に渡り東京方面に修学旅行に行ってきました。豊富な体験を通して、それぞれのみなさんが何かを体得してきたと思われます。このすべての経験が将来につながってくるものと確信しています。この夏は、45日の休みがあります。夏季補習や登校日、中学生体験入学、SAおよびSSの活動が予定されています。部活動も含めて、充実した日々を過ごしてください。

また、2年次の目標を、「自律・人間力・挑戦」～挨拶・掃除・返事・身だしなみ・さっと動く～の徹底としています。次の行動へさっと動く意識をもって活動をしてもらいたいからです。この根本がしっかりしていれば、おのずと学力・部活動の結果もついてきます。また、1年次4月当初より「たった一言が心を傷つける、たった一言が心を暖める」という言葉を各クラスに掲示をし、常に一言の大切さを年次団としても伝えてまいりました。引き続き、このことは大事にしていきたいと思います。ご理解をお願いいたします。

およそ1100日の高校生活のうち、4/9の日々が過ぎました。2年次生として責任を担う立場になった人もいると思います。富西の中核として周囲の人をまとめていくことを期待します。そして、しっかり、親友を作り、一つ一つコツコツと書いて覚え、考える力を身につけ、将来のことを見据え、自分自身を磨く、保護者とトコトン将来のことを話す、こういうことを継続して実践してもらいたいと思います。よろしくをお願いいたします。今回の通信は修学旅行の写真と1学期末の連絡確認事項を掲載しました。一生懸命頑張れ、TOMINISHI 2年次生!!!



2年次からの連絡・確認事項

①夏季三者面談：7月中旬より各クラスで担任の先生との面談が予定されています。確認をして臨んでください。しっかりと伝えていこう。

②生活全般：昼夜逆転のような生活リズムに陥らないよう、リズムを守って生活を送ること。また、昨年度頻発した交通事故などに遭わないように気をつけること。特に、スマホ及びSNSの使用には留意すること。

③富西祭（前日祭）9月5日（土）（文化祭）6日（日）

予定：今年度は5月に体育祭を実施。前日祭と文化祭がこの日にあります。しっかり準備をして楽しもう。

④修学旅行：6月16日（火）～19日（金）実施

ヒルトン東京ベイで3連泊。帰着の際、夢ホール駐車場において御協力たいへんありがとうございました。

⑤オープンキャンパス：できる限り参加してみよう。その場所で4年間生活できるかな、というスタンスで様子をしっかり見てみよう。

令和8年 夏休み・2学期当初 日程（日程が変更される場合も あります）

7月17日（金）終業式・三者面談開始
7月18日（土）夏季休業～8月30日（日）
7月21日（火）夏季補習（前半）～24日（金）
8月3日（月）登校日・年次集会
8月4日（火）中学生体験入学（SA・SSプレゼンテーション）
8月5日（水）SSH生徒研究発表会

8月8日（土）理科実験教室（TN Lab）小学生にプレゼンを行います。
8月10日（月）学校閉庁日～14日（金）
8月17日（月）全統記述模試
8月18日（火）夏季補習（後半）～21日（金）
8月25日（火）TNアカデミーツアー（25HR）
8月31日（月）第2回課題テスト①
9月1日（火）始業式・第2回課題テスト②
9月2日（水）文化祭準備～9月4日（金）
9月5日（土）前日祭
9月6日（日）文化祭
9月7日（月）8日（火）代休
9月9日（火）授業再開

1本の鉛筆が、希望に変わるとき

2月のある朝。／赤土の地面に、子どもたちの裸足の足音が近づいてくる。最初の訪問先、ングルウェ初等教育校。／「ようこそ、ようこそ！」小さな声が重なり、私の手にたくさんの小さな手が触れる。恥ずかしそうに、でも瞳はまっすぐに。／教室の中に入ると、驚いた。教室といっても、木で組まれた簡素な建物。ひとつの教室に、100人を超える子どもたちが詰め込まれていた。天井のすきまから光がこぼれ、ほこりが舞い、ノートも机も足りない。それでも子どもたちは笑っていた。いや、笑っていたようにしていた。／私が一人ひとりに手わたしたのは、たった4冊のノートと鉛筆とペン。でもその瞬間、ある女の子が言った。／「これで、勉強ができる。お母さんもきっと喜んでくれる」私は、言葉を失った。日本なら、文房具を買い足せばいい。ノートなんて無限にある。でもこの子たちは、ノートを「ブック」と呼び、大事に胸に抱えていた。／この姿を見て、私は7歳のときの自分を思い出した。家族をなくし、孤児院で鉛筆の芯が短くなるまで使っていた、あの中の私。／「教育は、あなたを裏切らない」／あのと、誰かに言ってほしかった言葉を、私は今、この子たちに伝えた。

「生きることから、すべては始まる」

（サヘル・ローズ）

一生懸命頑張れ！
富西2年次生!!